

伐採等届出関係

(様式2-7) 規則第66条第1項の届出書の様式

保安林（保安施設地区）内緊急伐採・作業届出書

第 号
年 月 日

富山県〇〇農林振興センター所長 殿

届出者 住所 富山市新総曲輪1-7
氏名 富山生産森林組合
組合長 〇〇 〇〇

次の森林（土地）において次のように立木を伐採（立竹を伐採、立木を損傷、家畜を放牧、下草、落葉又は落枝を採取、土石又は樹根を採掘、開墾、土地の形質を変更）したので、森林法第34条第9項（第44条において準用する同法第34条第9項）の規定により届け出ます。

森林（土地）の所在場所	〇〇市△△字□□**
保安林（保安施設地区）の指定の目的	例 水源のかん養
理由	例 △△地内の〇号トンネル出口付近において、*月*日、降雨等の影響によりトンネル下部が崩壊しているのを発見した。 復旧工事の実施にあたり、施行箇所上部からの落石が懸念されるため、安全対策として落石防護柵の設置が必要になった。
行為の日時	*年*月*日～*年*月*日
行為の方法	1. 目的 工事安全設備（落石防護柵）の設置 2. 行為の種類 土地の形質の変更 3. 内容 落石防護柵2箇所設置 4. 面積 0.0201 ha 5. 完了後の扱い 工事終了後、防護柵及び不要な資機材を撤去し、原形復旧を実施する。
備考	

記載例

注意事項

- 1 届出書は、伐採その他の行為についての箇所ごとに作成すること。
- 2 理由欄には、非常災害の発生年月日、緊急に伐採その他の行為を必要とした理由その他必要な事項を記載すること。
- 3 行為の方法欄には、規則第 61 条の申請書の様式の注意事項 2 及び 3 により記載すること。立木の伐採については伐採の方法、伐採した立木の樹種、年齢及び面積又は立木材積を記載すること。